

第 6 7 回長久手市地域公共交通会議 議事要旨

議 事 概 要	
会議の名称	第 6 7 回長久手市地域公共交通会議
開催日時	令和 6 年 8 月 2 8 日（水） 午後 2 時から午後 3 時 4 0 分まで
開催場所	長久手市役所 西庁舎 3 階 研修室
出席者氏名 (敬称略)	1 7 名中 1 5 名出席（五十音順） 会長 樋口 恵一 委員 岩井 貞典 委員 加藤 純丈（代理出席） 委員 川本 満男 委員 国仲 美早（公募委員） 委員 久米 裕之 委員 古賀 めぐみ（公募委員） 委員 児玉 朋孝 委員 小林 裕之 委員 佐分利 麻美（公募委員） 委員 日比野 裕行 委員 宮川 高彰（代理出席） 委員 門前 健 委員 吉田 浩美（代理出席） 委員 若杉 将成 説明員 （N－バス事業者） 安心安全課長 久保田 直也 同課課長補佐 山際 裕行 同課係長 加藤 優作 （福祉有償運送） 福祉政策課係長 武田 憲明 （地域の移動支援） 地域共生推進課長 嵯峨 寛子 事務局 企画政策課長 山本 一裕 同課課長補佐 山崎 暢之 同課係長 富田 昌樹 同課主事 林 陽奈子
欠席者氏名 (敬称略)	委員 石屋 義道 委員 牧 雅美
傍聴者人数	2 人
会議の公開・非公開	公開

審議の概要	1 あいさつ 事務局あいさつ 2 議題 (1) 市東部地域におけるデマンド型交通実証実験について（資料 1） (2) 公共交通応援隊による集客イベントについて（資料 2） 3 報告事項 (1) 市内公共交通の利用者実績について ア（リニモ）利用者数の推移（資料 3－1） イ（名鉄バス）長久手市内運行路線の利用者数について（資料 3－2） ウ（N－バス）乗車人数（資料 3－3） (2) 新城名古屋藤が丘線「山の湊号」夏得キャンペーンについて
-------	--

1 あいさつ

事務局より人事異動による委員の変更（名鉄バス株式会社 大野委員から久米委員に変更）があったことを説明

2 議題

（1）市東部地域におけるデマンド型交通実証実験について

（資料 1 に基づき、安心安全課より説明）

委員

2 点伺いたい。

1 点目は事前の利用登録について、前回の会議ではどの予約方法の場合であっても、事前の利用登録が必須と記載があったが、今回の資料では電話で予約する場合は、事前に利用登録をしなくても可となっているのはなぜか。

2 点目は乗降場所について、N－バスバス停が停留所として示されているが、デマンドでバス停を利用する調整はできているのだろうか。バス停は原則バス車両以外駐停車できないバス停をデマンド型交通の乗降場所とするのであれば、公安委員会との調整が必要ではないかと思う。

安心安全課

1 点目の事前の利用登録について、電話の場合は乗車予約の際に必要な情報を聞き取ることができ、事前登録をしていない場合でもシステムを運用できるため、変更した。ただし、WEBの場合はシステムの都合により、事前登録が必須である。

2点目の停留所については、事業者との調整は今後行うところである。バス停そのものの場所ではなく、バス停付近の安全な場所にデマンド型交通の停留所を設けるよう考えている。

委員

公道で停留所を設ける際には、道路交通法に抵触する箇所は避けるようご留意いただきたい。

委員

停留所の看板について、道路上に新たに設置する場合やバス停に貼り付ける場合は占用許可の届出が必要になる。道路は国道、県道、市道のいずれの場合においても必要かと思う。なお、建物や私有地に掲示する場合は、届出が必要ない。

安心安全課

ご意見いただいた内容を留意して準備を進めていく。

委員

停留所について、病院やスーパーマーケットなどが該当となっていない。他自治体の会議に参加しているため、デマンド型交通についても各自治体の状況を把握しているが、病院やスーパーマーケットで乗降する利用がかなり多い傾向にある。資料の停留所のみでは利用が伸び悩むのではないか。

安心安全課

運行エリア内にはスーパーマーケットがない。コンビニエンスストアや病院はあるが、近隣に停留所を設置する予定である。

委員

停留所の看板について、台風などにより剥がれてしまうことも想定されるが、どのようにメンテナンスを予定しているか教えてほしい。

安心安全課

剥がれている恐れがある場合には、市で巡回確認を行い、必要に応じて修繕したい。

委員

実験結果の検証について、併走するNーバスの検証も行うとの説明があったが、Nーバスだけでなく、リニモ、名鉄バス、タクシーなど既存交通への影響も分析いただきたく思う。

会長

長久手市の公共交通政策は、福祉分野と連携していることが特徴であると感じている。デマンド型交通を車いす利用者が予約した場合、どのように利用できるのだろうか。

委員

今年度の実験については、車いすごと乗車することはできない。折りたたんでトランクに積み込む形であれば乗車可能である。

会長

車両がワゴンタイプであれば車いすごと乗車できると思う。来年度の実験ではワゴンタイプの用意は可能なのだろうか。

委員

当事業所においてはワゴンタイプの車両は所有していない。ハイエースであれば用意できる見込みがあるので、車いすごと乗車できる運用を検討できると良いと考える。

会長

デマンド型交通運行エリア内には福祉有償運送事業所もある。福祉有償運送利用者でもデマンド型交通を利用できるようになると良いと思う。

委員

福祉分野としても、連携できる部分は積極的に協力していきたい。

委員

乗り継ぎを促すキャンペーンについて、具体的にどのような内容か伺いたい。

安心安全課

デマンドと他の公共交通を乗り継いで移動する場合、その旨を運転手に伝えて、乗継票に記入することでデマンド型交通の1エリア移動分の運賃が割引される仕組みである。デマンド型交通で運賃割引等の乗り継ぎ処理を行うため、リニモや名鉄バス、Nーバスの運転手等には負担が発生しない運用方法で実施する。

会長

福祉との連携に関連して、簡単な介助などの支援があれば乗車できる人たちがデマンド型交通を利用することは難しいだろうか。

委員

今年度は難しい見込みだが、来年度は事前登録の段階で、支援が必要であることを入力してもらうような仕様としたいと思う。ドライバーも介助ができる者もいるので、要望に応じて配置できるような仕組みの構築を検討したい。

委員

運賃について、今回の実験に関する運賃協議会の開催は必要なのだろうか。

委員

車両を貸し切り、乗合方式で実験を行うため、運賃協議会の開催は不要である。

委員

運賃の減免について、母子手帳の提示などにより、妊婦の付き添いの方の割引はできないか。付き添いは、夫や親などをイメージしている。

安心安全課

Nーバスに準ずる割引とするため、妊婦の付き添いの方の運賃割引は想定していない。

委員

Nーバスの代替手段としてのデマンド型交通の実証実験であるため、基本的な制度はNーバスに準ずる運用としたい。

会長

周知方法について、広報に掲載し、市全体に情報発信することになるが、今回の実験が市の東部限定であることから、西部の住民が不満感を抱かないようにできると良いと思う。議会等から西部地域への懸念の声は挙がっていないか。

安心安全課

現時点ではない。地域公共交通計画に基づいて今回の実験を行うことを示していきたい。

委員

高齢者には乗り換えの概念がない方が多い。乗り換えすることで行ける場所が増えるということを具体的に示して周知できると良いと思う。

安心安全課

シニアクラブへ説明した際にも同様の声が挙がった。今後、周知を行う際には、乗り換えについて丁寧な説明を行うようにしたい。

委員

対象は全年代とのことだが、どうしても高齢者向けの取組になっている印象を受ける。市民からも「高齢者ばかり優遇されている」といった声をよく聞く。子育て世代や若者世代にも利用いただきたいものであることを明確に周知していくと良いと思う。

安心安全課

ターゲットは高齢者だけでなく全年代であるため、若者の集いの場でも周知したいと思う。

会長

子どもが習い事や遊びの場に行く手段として使ってもらうことも想定にいれながら周知できると良いと思う。

最後にまとめとして、何点か述べる。

停留所の設置については、各関係機関と合意形成しながら最終決定していただきたい。

実験の周知に当たっては、他の公共交通機関との連携についても焦点を当て、乗り継ぎによるデマンド型交通の運賃割引制度についても強く周知願いたい。また、利用者については、多くの利用が見込まれる高齢者に加えて、子育て世代や子どもの移動も視野に入れていただき、幅広い年代に向けて周知してほしい。

（２）公共交通応援隊による集客イベントについて

（資料２に基づき、事務局（企画政策課）より説明）

会長

公共交通応援隊として何か補足はないだろうか。

委員

当該の概要としては資料の通り、小学生の低学年層を対象に、公共交通にふれて楽しめる、色々な人が集まれるイベントにしたいと考えているため、広い場所での開催が出来たらと考えている。市役所及び交通事業者の方々にもご協力をお願いしたい。

委員

素晴らしいアイデアだと思う。将来の利用者や運転手をめざす子どもが増えたら幸いと思う。イベント内容については、今後、調整させてほしい。

委員

リニモの車庫もスペースがあるので、時期によっては利用可能かと思う。リニモの走行デモンストレーションもできると考えているため、できる限り協力していきたい。

委員

子どもにタクシーのメーターを押していただく体験なども面白いかと思った。

会長

児童館での常設展示などもできるといいかもしれない。

事務局（企画政策課）

今後の調整は市と各事業者で進めていきたい。

3 報告事項

（１）市内公共交通の利用実績について

（資料３－１、３－２、３－３に基づき各交通事業者より説明）

委員

名鉄バスの６月利用者が前年同月と比べて減少している要因は、前年度と比較して６月の降雨日が１０日ほど少なかったことである。このことにより、雨の日のみ利用する方が数が相対的に少なくなった。

（２）新城市バス「山の湊号」キャンペーンについて

（資料に基づき事務局（企画政策課）より説明）

意見なし

事務局（企画政策課）

次回の会議は１２月１６日に開催を予定している。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

以上